実務セミナー　関連部署にご回覧ください

品質管理の急所!

クレーム・不良流失を防止する 製造品質管理38手順

こんなことが学べる講座です

○少量多品種工場、一品個別受注生産など、生産タイプ別工場の品質管理のポイント
○品質管理の実効性を高める「38の手順」を、初期品質管理時、量産時、出来栄え検査時、不具合対策時など、場面ごと分類して解説

日時 2019年 12月 19日(木) 10:00〜17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30〜13:30)

主催 日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込)
＊同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円
※後日、別の方が追加で申込をされる際は、備考欄に先に申し込まれた方のお名前と複数割適用希望と記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となります。予めご了承ください)

会場案内図　日刊工業新聞社セミナー会場

【アクセス】東京メトロ 日比谷線 人形町駅 (A2) 出口より徒歩3分
東京メトロ 半蔵門線 水天宮前駅 (8番) 出口より徒歩4分
都営浅草線 人形町駅 (A6) 出口より徒歩3分

日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
【アクセス】
東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。
なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせて頂きます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義				
㈱日刊工業新聞社	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申 込 先 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222　FAX 03 (5644) 7215
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書

12/19 **品質管理38手順**　お申し込みは FAX **03-5644-7215**

■受講料：44,000円 (資料含む、消費税込) ＊同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円　※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ　部署・役職	TEL	
		FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方はチェックをしてください。 □
備考			

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。　No.190432

個人情報の取り扱いについて
ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。　【ご連絡先】日刊工業サービスセンター　情報事業部　nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

「クレーム撲滅、不良低減」をスローガンに抱えている工場は多いと思いますが、長年にわたる品質管理・活動（ＩＳＯなどしっかりとした品質管理システムを導入していても）にも係らず、「実効性が今一つ上がらない…」という悩みも多いのが実態です。

様々な理由はありますが、長年多くの企業で品質に係る相談を受けてきた講師の経験から言うと、大きな原因として、品質管理の計画や体系があったとしても、「品質管理手順」まできちんと作り込まれておらず、結果、実効性に乏しい品質管理に陥ってしまっているケースが非常に多いです。

本講座では、**“製造現場の品質管理の実効性を上げるうえで「急所」”**ともいえる、品質管理手順に重点を置き、「クレーム撲滅、不良低減」の実効性を上げる手法について解説を行います。

※本講座ではサブテキストとして「すぐに現場で使えるモノづくり企業の品質管理大事典」
工場管理2018年10月臨時増刊号　を進呈いたします。

講　師

一般社団法人中部産業連盟　執行理事　主席コンサルタント　**山崎 康夫** 氏

［略歴］ 経済産業省登録中小企業診断士。生産管理、現場改善、管理会計、ＩＳＯ（品質、環境、食品衛生、情報）、間接業務改善等の各分野において、コンサルタント、セミナー講師として活躍中。

プログラム

１．はじめに

１）モノづくり企業の品質管理の重要性

２．生産タイプ工場別の品質管理のポイント

１）少品連続見込み生産タイプの品質管理の要点
２）多品種ロット見込み・受注生産タイプの品質管理の要点
３）多品種少量個別受注生産タイプの品質管理の要点
４）一品個別受注生産タイプの品質管理の要点

３．製造品質を向上させる３８の品質管理手順

１）品質管理手順の体系とその概要

２）初期品質管理の⑦手順

①新製品の品質計画管理
②工程管理
③作業標準管理
④故障モード影響解析管理（工程ＦＭＥＡ）
⑤過去トラ展開管理
⑥工程リスク管理
⑦初期流動管理

３）量産時品質管理の⑨手順

①作業遵守管理
②品質パトロール管理
③変化点管理
④品質ＫＹＴ管理
⑤工程異常管理
⑥トレーサビリティ管理
⑦作業スキル・認定管理
⑧設備治工具管理
⑨作業環境管理

４）不良を流出させないできばえ検査の⑩手順

①検査基準
②官能検査管理
③抜き取り検査管理
④サンプル管理
⑤検査員教育・認定管理
⑥計測機器管理
⑦統計的工程管理（7-1 ヒストグラム、7-2 $\bar{x}$-R 管理図、7-3 工程能力指数）
⑧$\bar{x}$-R 管理図のつくり方、工程能力指数の出し方
演習（8-1 $\bar{x}$ 管理図、8-2 工程能力指数）

５）不具合対策・再発防止の⑧手順

①不良現品・処置管理
②不良解析管理（2-1 特性要因図　2-2 タートル図　2-3 なぜなぜ分析）
③不良低減管理（3-1 層別・パレート図、3-2　水平展開）
④不良対策管理（4-1 ポカヨケ　4-2 人為的ミス防止）

６）品質改善活動の④手順

①品質教育活動
②組織横断品質活動
③小集団活動
④内部品質監査活動